

冒険手帳を持って 日光国立公園に行こう！



冒険手帳に書かれた
物を見たり、場所を
訪れたら、付属の
シールを貼ろう！



対象施設の「日光湯元ビジターセンター」「日光自然博物館」「塩原温泉ビジター
センター」「那須高原ビジターセンター」「那須平成の森」で
スタンプをゲットしよう！スタンプを3つ集めると…？



手ぬぐいが貰える！

上記施設のうち、3箇所でスタン
プを集めると、オリジナル手ぬ
ぐいが貰えます！ただし日光
と那須・塩原の両方に行かない
とスタンプは集まらないという
…うまいことできてます（笑）

冒険手帳はビジターセンターのカウンターで無料配布しています！
年齢制限はありませんので、大人の方もぜひ お求めください！

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000 円**

2024 年 3 月号 (No.156) ～2025 年 12 月号 (No.163)

【発行】自然公園財団 日光支部

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

【申し込み方法】

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、
下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

＼アドレスが変わりました／

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2025 年 6 月初旬発行 [次号 2025 年 9 月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

楓通信

2025 年 No.161

6-8 月号



男体山より中禅寺湖を望む

今号の特集

< 特集 1 > 花の命は短くて… ～初夏の花 ズミ～

< 特集 2 > 奥日光で「避暑キャンプ」のススメ



花の命は短くて…

～初夏の花 ズミ～

儚くも存在感のある、夏の始まりを告げる花

平地から 1 カ月遅れでやってくる奥日光の初夏。この時季お客様から問い合わせが増えるのが、シャクナゲやズミ、クリンソウなどの開花情報についてです。なかでもズミは花期が短く「いつまで満開が続くか」という質問に対して私たち職員が回答に頭を悩ませる花です。満開になっても雨風ですぐ散ってしまうことが多く、一日でガラッと景色が変わるのです。

ズミは、高さ 10 メートルほどに成長するバラ科の落葉性小高木で、北海道・本州・四国・九州の山地帯に生育し、県内にも広く分布しています。かつて、ズミの樹皮を黄色染料として利用していたことから「染み(そみ)」と呼ばれ、

しだいにズミになったといわれています(諸説あり)。ズミの開花は毎年 6 月上旬頃で、径 2 ～ 3 センチメートルの小さな白い花です。蕾の時は赤く、咲き始めは淡い紅色のような、繊細なグラデーションが印象的。満開時は白くなり、ほのかに甘い香りが漂います。一見、桜のように見えるため、よくお客様が驚いています。

日光国立公園内では那須沼原や塩原大沼、戦場ヶ原や小田代原、光徳、菖蒲ヶ浜等でズミ林が見られます。特に大きな群落を形成している場所は、長野県上高地の小梨平や山梨県山中湖小梨ヶ原にもありますが、戦場ヶ原ほどの大群落は全国的にも例がないようです。

先述の通り、満開の期間が短いズミですが、数年に一度、花芽がたくさん付いた年は、1 週間以上咲き誇ることも。満開のズミが戦場ヶ原を白く染め、遊歩道はさながらズミのトンネル(左図)となって、訪れるハイカーたちを感動させてくれます。私たち職員としてもぜひ、お客様にこの景色を見ていただきたいのですが…こればかりは天気と花の状態によるため、まさに「花の命は短くて…」なのです。

長らく勤務している職員でも、満開のピークを見ることができたのはほんの数回…。2 日休んで出勤したら花が散っていた、なんてこともしばしば。それほど、満開のタイミングに合わせるのが難しい花なのです。

ズミの役割は、私たちを感動させてくれるだけではありません。花には多くの昆虫が訪れて、その虫を食べるノビタキやホオアカ、モズなどの鳥もやってきます。花期が終わると、ズミは真っ赤な実をつけます。この実が、鳥や動物たちの重要な食べ物になるのです。このように、ズミは奥日光の生態系を構成する極めて重要な存在であるともいえます。

今回は、奥日光の初夏、6 月の花「ズミ」をご紹介しますが、さわやかな夏の奥日光には次々と多くの花たちが咲き乱れます。日光湯元ビジターセンター職員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

文・写真：ビジターセンター所長 K



ズミの花



じつは生命力が強い!?

ズミは、良好な環境下であれば 100 年以上の生存が可能だそうで、伐採されても萌芽更新して再生する、強い生命力を備えています。また、戦場ヶ原周辺のズミ林は、河川沿いや国道東側の扇状地に広がっています。つまり、湿原への土砂流入を止める干涉帯の一つとしても、重要な役割を果たしているのです。花は儚くとも、じつにたくましい樹木です。





お盆期間中の湯元キャンプ場

晴れていれば
男体山が見える！

日光湯元 キャンプ場

【料金】
大人（高校生以上）：1,500 円
子供（小・中学生）：1,000 円
小学生未満：無料
※宿泊、日帰り同額
(本年から値上げしております)

真夏でも気温 25 度前後！快適な穴場キャンプ場。

日光湯元キャンプ場がある湯元温泉街は、真夏でも気温が 25 度前後と涼しく、まさに避暑地。朝晩や曇の日は、半袖だと寒く感じるほどです。湿度も低くカラッとしていて、とにかく快適！栃木県の避暑地は那須だけじゃないんですよ！今回は、日光湯元キャンプ場についてご紹介します。

こんなに快適なのに、あまりにも山奥すぎるのか、お盆のシーズンでも上の写真のような状況。奥のスペースには、まだ余裕がありますね。しかも、この写真はサイトのごく一部。奥に行くほどトイレや炊事場までの距離が遠くなりますが、うまく場所を探せば、最盛期（お盆休みや夏休み期間中の 3 連休など）でも隣との距離を気にせずテントを設営することができます！ぜひ、ご自身にとってベストな場所を探してみてください。

日光湯元
ビジターセンターで
受付して下さい
9:00-16:00
(7-8 月 9:00-17:00)



予約なしで利用できます！

湯元キャンプ場は、予約制ではありません。また、これまで満員で受付をお断りしたこともありません。キャンプがしたいと思ったその日に、事前申込みなしで利用できます。ただし、台風の接近などにより臨時閉鎖することがあります。お越しの際はホームページをチェックしてください！

設備はトイレと炊事場のみ！何もないけど、それが良い。

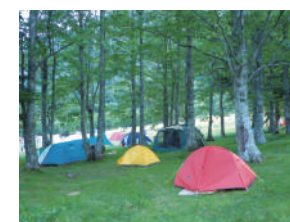
湯元キャンプ場は、全面が草地のフリーサイト。炊事場とトイレ以外の設備はなく、道具のレンタルも一切ありません。シャワーなし！ゴミ箱もなし！加えて、キャンプ場の近くにコンビニやスーパーもなく、忘れ物をすると大変なことになる（かもしれない）、不便な場所です。それでも毎年、とくに夏には、ほぼ毎週通うほど当キャンプ場を気に入ってくださっている常連さんがたくさん！とくに、ソロや少人数でゆったり楽しんでいる方が多い印象です。

何もないからこそ、自然豊かな環境を楽しめ、静かにキャンプができる。真夏の暑苦しさもない。不便を楽しむことさえできれば、最高のキャンプ体験ができるはずです！運が良ければシカの群れやキツネ、サルなどの野生動物に出会えるかも！？



炊事場

焚き火台をお持ちでない方は、ここで火を焚くこともできます。屋根つきなので、豪雨の際は雨宿りにも便利◎

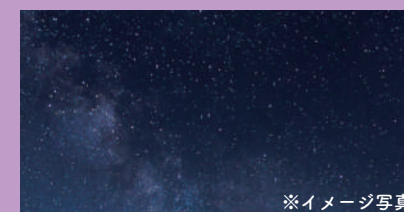


林間サイト

気持ちの良い日陰サイト。白根山の登山道がすぐ横にあるので、登山をされる方に人気です。広くはないので早いもの勝ち！

満点の星空なら...あります！

キャンプの夜はぜひ、空を見上げてみてください。視界いっぱいに星空が広がっているかも！？「奥日光に来て、生まれて初めて天の川や流れ星を見た」という方も多数。それほどに奥日光、とくに湯元温泉は星空がよく見える場所です。見える星の数に驚くはず…！



※イメージ写真

ビクターセンターイベント

昆虫探し&昆虫標本づくり体験

7月26日(土)

9:30-13:00

昆虫好きな大人も子供(保護者同伴)も集まれ！
ビクターセンターの昆虫好きスタッフと共に
フィールドを歩き、虫を探しましょう。昆虫探し
だけでなく、夏休みの工作にもピッタリの昆虫標
本づくり体験つき！涼しい奥日光で、思うままに
昆虫を探しましょう！

【開催場所】湯元スキー場周辺(昆虫探しの後、
ビクターセンターにて標本づくり)

参加費 3,000 円



ナイトハイク&湯滝ライトアップ

8月2日(土)

19:30-21:30

ナイトハイクはともかく、前代未聞の「湯滝ライトアップ」とは…？それは当日のお楽しみ☆ 人工灯のない、真っ暗なハイキングコースを私たちと一緒に歩いてみましょう！ちょっと怖い！？けど感覚が研ぎ澄まされるような、そんな体験ができるはず。宿に宿泊の方は、夕食の時間に注意！
【ルート】湯滝 P→湯滝→小滝(往復・歩道状況により変更あり)

参加費 3,000 円



湯元温泉で お魚つかみ取り体験！

8月10日(日)

10:00-12:00

この日限定！白根沢でマスのつかみ取り体験ができます！真夏でも気温 25℃前後の快適な奥日光で、夏の思い出づくりをぜひ！大人も子供(保護者同伴)も参加可能です。きれいな沢でジャブジャブするだけでも楽しくなっちゃいますよ～

【開催場所】白根沢(湯元温泉内)

※特別許可を得て実施

参加費 3,000 円

(捕まえた魚のお持ち帰りも可能です)



秘境の先に一体なにが!? 御沢金剛峡の その先へ…

9月7日(日)

10:00-15:30

御沢金剛峡の一番奥まで行ってみよう！というイベント。苔むした水辺をジャブジャブ歩き、一部ヒザ上まで水に浸かり…最後は巨大な岩を全身を使って登ります。その先にあるものとは!? 滑りやすい道なので、岩場歩きに慣れた方向け。

【ルート】梵字 P→御沢金剛峡→金剛峡の先→梵字 P ※特別許可を得て実施

参加費 5,000 円



お申込み先(自然公園財団日光支部)

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和3年～5年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所(郵便番号含む)⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段